

2012年度後期 学生による授業アンケート結果

2013.6.1

教育開発推進委員会

| | |
|---------------|---|
| 目次 | 【概要】 |
| 1. 全体の結果 | * 2012年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。 |
| 2. 科目分野別の結果 | * アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。 |
| 3. 授業形態別の結果 | * 評価は5段階評価です（1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う） |
| 4. 受講者数別の結果 | * 後期は1月21日～2月4日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。 |
| 5. 先生のアンケートから | |

1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

実施科目数 98科目

質問項目別に見る平均

[表1]

| 設 問 | 平均 |
|---|-------------|
| 学生自己評価について | 3.95 |
| 1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した | 4.06 |
| 2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど) | 3.84 |
| 授業について | 4.08 |
| 3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた | 4.13 |
| 4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた | 4.07 |
| 5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間) | 4.26 |
| 6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった | 4.12 |
| 7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った | 4.13 |
| 8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった | 3.80 |
| 9.この授業の進め方及び内容は適切であった | 4.02 |
| 10.課題の内容は学習に役立った | 4.04 |
| 11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた | 4.27 |
| 12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など) | 4.02 |
| 13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた | 4.06 |
| 14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む) | 4.16 |
| 15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった | 4.07 |
| 16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う | 4.00 |
| 環境について | 4.28 |
| 17.教室の広さは適切であった | 4.29 |
| 18.机や椅子の配置は適切であった | 4.22 |
| 19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった | 4.34 |

2 科目分野別の結果

*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等に分類し、平均値を出したものが次の【表2-2】です。「基幹科目」は各学科の専門科目を意味します。

実施科目

【表2-1】

| 科目分野 | 実施数 | 実施科目 |
|--------------------|-----|--|
| 基礎科目:文献講読演習 | 6 | 文献講読演習 b/文献講読演習 a/文献講読演習 b |
| 基礎科目:英語科目 | 1 | 英語文化入門 |
| 基礎科目:外国語 (英語以外) | 3 | ドイツ語 /フランス語 /中国語 |
| 基礎科目:スポーツ・健康 | 1 | 生涯スポーツ |
| 基礎科目:現代教養 | 6 | 社会学 /日本国憲法/日本古典文学研究 /キリスト教人間論 |
| 基幹科目 | 55 | 日本民俗学/漢文学/日本文化史/文化人類学/日本語の構造 /比較社会学/生活支援技術B/子どもと家庭ソーシャルワーク論/相談援助演習 /地域福祉の理論と方法 /介護の基本 /基礎介護実習指導/生活支援技術E/児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度/精神科リハビリテーション学/相談援助演習 /相談援助の理論と方法 /相談援助の理論と方法 /コミュニケーション研究 /異文化間コミュニケーション論/言語学/日本の思想/地域文化(国際)研究所説/ マルチメディア英語演習/メディアイングリッシュ/精神保健福祉援助技術各論/低所得者に対する支援と生活保護制度/ケアマネジメント論/手話技術演習/心理検査法 /リトミック /乳児保育/精神保健学/乳児保育 /子どもの保健 /児童文化研究/精神医学/子どものことは/精神保健福祉論/小児保健/子どもの保健 /精神保健福祉論/考古学/地域文化研究特論/書道/生活支援技術D/美術/生命科学論/認知症の理解 /マーケティング論 /子どもと健康/乳児保育/音楽基礎理論/発達と学習の心理学 /音楽表現法(後期)/施設養護研究/保育内容総論/子どもと環境 /子どもの心理臨床/保育・教育システム論/子どもと宗教/教育論/子どもの食と栄養/造形表現法/児童教育法/環境心理学/生涯発達心理学 /神経心理学/グループアプローチ論/障害者心理 /人間心理学 /家族心理学/人格心理学/臨床心理学演習/カウンセリング論 |
| 資格・免許に関する科目 | 13 | 教育原理/体育あそびの研究/教育方法論/視聴覚教育メディア論/読書と豊かな人間性/モンテッソーリ教具入門/モンテッソーリ教具提供法 /小学校教育実習指導/幼稚園教育実習指導 /保育実習指導 |

質問項目別に見る平均

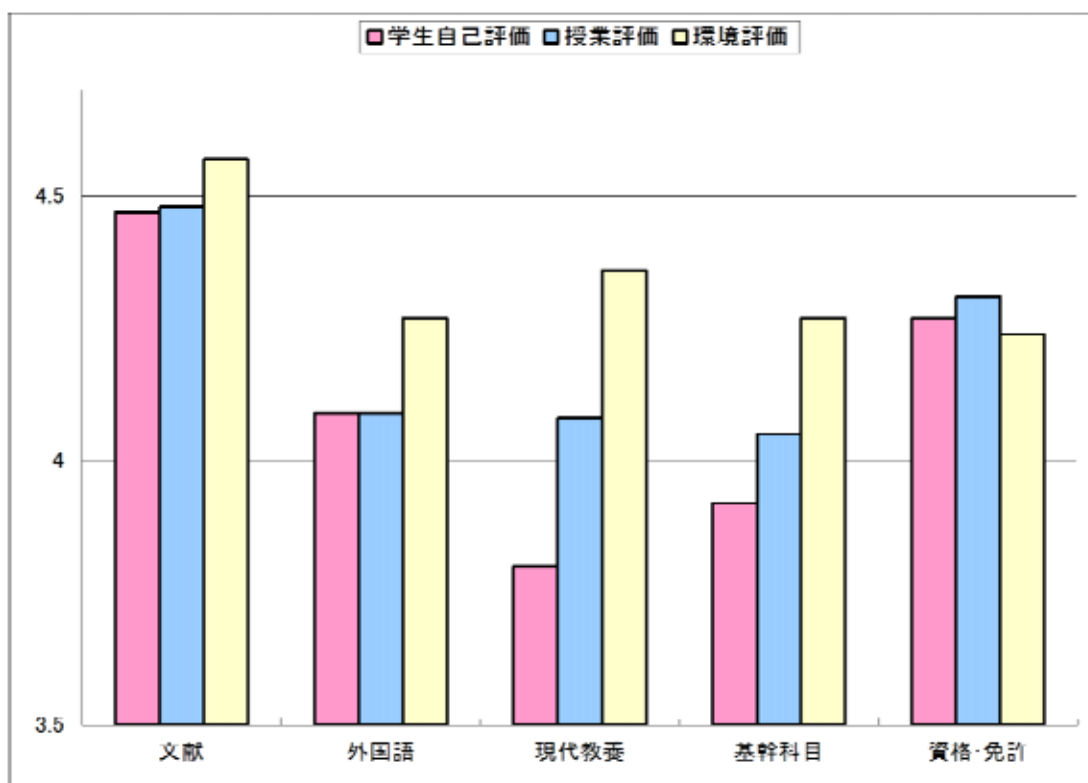
【表2-2】

| 設問内容 | | 基礎科目 | | | 基幹科目 | 資格免許 |
|----------------------|-----------|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 文献 | 外国語 (英語以外) | 現代教養 | | |
| 学生自己評価 | 平均 | 4.47 | 4.09 | 3.80 | 3.92 | 4.27 |
| 1.適切な態度 | | 4.58 | 4.29 | 3.93 | 4.03 | 4.40 |
| 2.意欲的な取り組み | | 4.36 | 3.89 | 3.67 | 3.82 | 4.14 |
| 授業への評価 | 平均 | 4.48 | 4.09 | 4.08 | 4.05 | 4.31 |
| 3.シラバスの授業への反映 | | 4.44 | 4.11 | 4.13 | 4.10 | 4.33 |
| 4.成績評価基準の明示 | | 4.43 | 3.88 | 4.18 | 4.04 | 4.15 |
| 5.授業時間を守る | | 4.51 | 4.36 | 4.38 | 4.22 | 4.37 |
| 6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.62 | 4.25 | 4.16 | 4.07 | 4.45 |
| 7.教材が理解に役立った | | 4.49 | 4.25 | 4.26 | 4.09 | 4.38 |
| 8.板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.18 | 3.78 | 3.68 | 3.80 | 3.83 |
| 9.進め方と内容の適切さ | | 4.44 | 4.01 | 4.01 | 3.98 | 4.28 |
| 10.課題の内容は学習に役立った | | 4.49 | 4.03 | 3.90 | 4.02 | 4.40 |
| 11.教員の熱意が感じられた | | 4.53 | 4.25 | 4.26 | 4.23 | 4.55 |
| 12.適切な学習環境の保持 | | 4.47 | 4.11 | 3.95 | 3.98 | 4.36 |
| 13.学生の努力の公正な評価 | | 4.51 | 4.07 | 4.11 | 4.01 | 4.24 |
| 14.学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.58 | 4.21 | 4.17 | 4.13 | 4.34 |
| 15.問題意識・関心が深まり | | 4.44 | 4.00 | 4.00 | 4.04 | 4.37 |
| 16.後輩や友人に勧めたい | | 4.53 | 3.92 | 3.96 | 3.97 | 4.23 |
| 環境への評価 | 平均 | 4.57 | 4.27 | 4.36 | 4.27 | 4.24 |
| 17.教室の広さの適切さ | | 4.57 | 4.17 | 4.33 | 4.28 | 4.35 |
| 18.机・椅子の配置の適切さ | | 4.47 | 4.18 | 4.30 | 4.21 | 4.17 |
| 19.教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.56 | 4.46 | 4.46 | 4.32 | 4.21 |

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



「文献」は学生の自己評価が特に高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

* 授業形態は担当教員の届出によります。

実施科目

【表3-1】

| 授業形態 | 実施数 | 実施科目 |
|------|-----|---|
| 講義系 | 65 | 英語文化入門/中国語 /社会学 /日本国憲法/日本古典文学研究 /キリスト教人間論/日本民俗学/日本文化史/文化人類学/日本語の構造 /比較社会学/子どもと家庭ソーシャルワーク論/地域福祉の理論と方法 /介護の基本 /児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度/精神科リハビリテーション学/相談援助の理論と方法 /コミュニケーション研究 /異文化間コミュニケーション論/言語学/日本の思想/地域文化(国際)研究所説/メディアイングリッシュ/精神保健福祉援助技術各論/低所得者に対する支援と生活保護制度/ケアマネジメント論/乳児保育 /精神保健学/子どもの保健 /児童文化研究/精神医学/子どものことば/精神保健福祉論/考古学/地域文化研究特論/生命科学論/認知症の理解 /マーケティング論 /子どもと健康/音楽基礎理論/発達と学習の心理学 /子どもの心理臨床/保育・教育システム論/子どもと宗教/教育論/児童教育法/環境心理学/生涯発達心理学 /神経心理学/グループアプローチ論/障害者心理 /人間心理学 /家族心理学/教育論/児童教育法/環境心理学/人格心理学/カウンセリング論 /教育原理/教育方法論/視聴覚教育メディア論/読書と豊かな人間性/モンテッソーリ教具入門/モンテッソーリ教具提供法 /保育実習指導 /地域文化研究特論 |
| 演習系 | 22 | 文献講読演習 b/文献講読演習 a/文献講読演習 b/生活支援技術B・D/相談援助演習 /基礎介護実習指導/基礎介護実習指導/マルチメディア英語演習/手話技術演習/心理検査法 /リトミック /小児保健・子どもの保健 /音楽表現法/施設養護研究/保育内容総論/子どもと環境 /子どもの食と栄養/造形表現法/臨床心理学演習/体育あそびの研究 |
| 実技系 | 6 | ドイツ語 /フランス語 /生涯スポーツ /生活支援技術E/書道/美術 |
| 実習系 | 5 | 小学校教育実習指導/幼稚園教育実習指導 /保育実習指導 |

質問項目別に見る平均

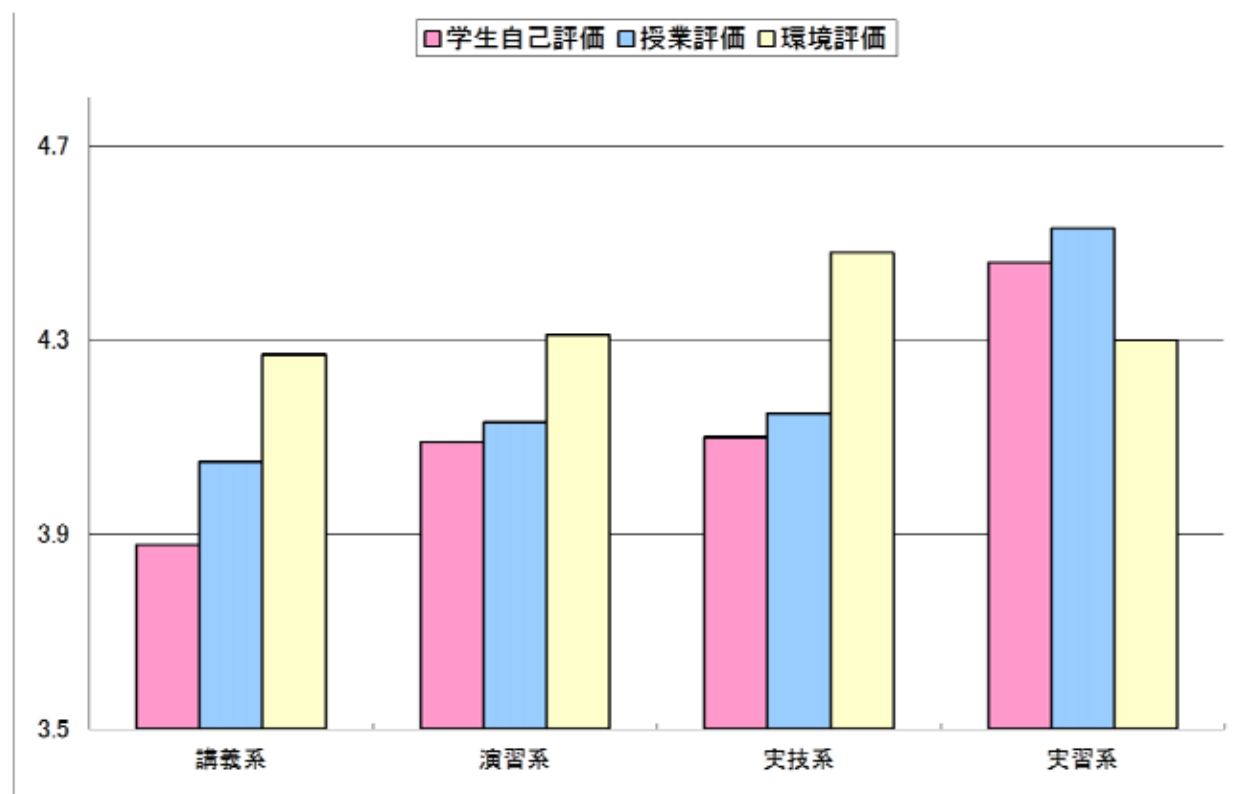
[表3-2]

| 設問内容 | | 講義系 | 演習系 | 実技系 | 実習系 |
|-----------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 学生自己評価 | 平均 | 3.89 | 4.09 | 4.10 | 4.46 |
| 1. 適切な態度 | | 4.01 | 4.13 | 4.21 | 4.65 |
| 2. 意欲的な取り組み | | 3.77 | 4.04 | 3.98 | 4.27 |
| 授業への評価 | 平均 | 4.05 | 4.13 | 4.15 | 4.53 |
| 3. シラバスの授業への反映 | | 4.10 | 4.19 | 4.17 | 4.53 |
| 4. 成績評価基準の明示 | | 4.05 | 4.11 | 4.04 | 4.42 |
| 5. 授業時間を守る | | 4.28 | 4.12 | 4.36 | 4.34 |
| 6. 教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.12 | 4.05 | 4.32 | 4.61 |
| 7. 教材が理解に役立った | | 4.10 | 4.17 | 4.24 | 4.63 |
| 8. 板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.77 | 3.90 | 3.60 | 4.17 |
| 9. 進め方と内容の適切さ | | 3.99 | 4.05 | 4.10 | 4.49 |
| 10. 課題の内容は学習に役立った | | 3.97 | 4.19 | 4.14 | 4.74 |
| 11. 教員の熱意が感じられた | | 4.23 | 4.31 | 4.45 | 4.70 |
| 12. 適切な学習環境の保持 | | 3.99 | 4.06 | 4.08 | 4.53 |
| 13. 学生の努力の公正な評価 | | 4.02 | 4.10 | 4.19 | 4.42 |
| 14. 学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.13 | 4.20 | 4.21 | 4.59 |
| 15. 問題意識・関心が深まり | | 4.02 | 4.16 | 4.13 | 4.62 |
| 16. 後輩や友人に勧めたい | | 3.94 | 4.13 | 4.14 | 4.62 |
| 環境への評価 | 平均 | 4.27 | 4.31 | 4.48 | 4.30 |
| 17. 教室の広さの適切さ | | 4.26 | 4.35 | 4.46 | 4.49 |
| 18. 机・椅子の配置の適切さ | | 4.23 | 4.16 | 4.42 | 4.19 |
| 19. 教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.31 | 4.41 | 4.55 | 4.22 |

設問は略しています。正式な設問は「1 全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

[グラフ3]



「実習系」は、学生自己評価、授業評価において特に高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

実施科目

【表4-1】

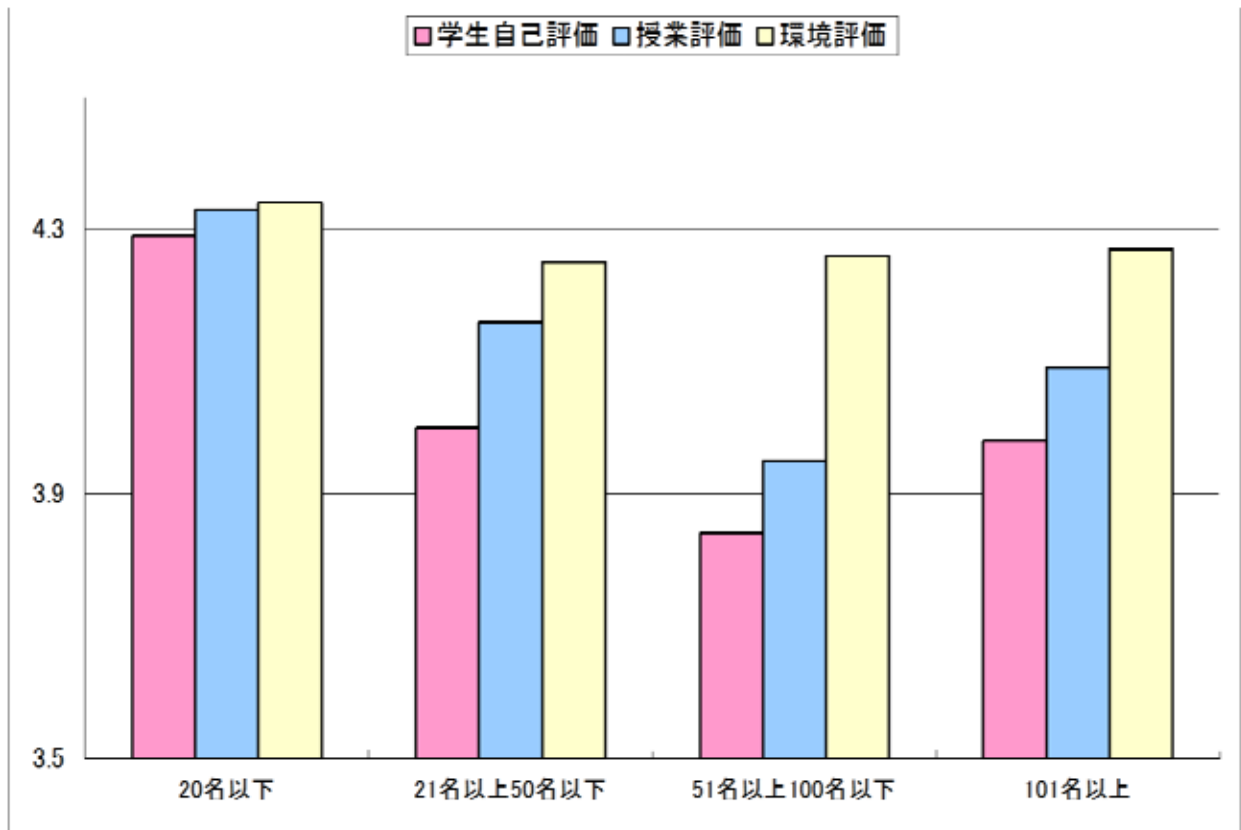
| 受講者数 | 実施数 | 実施科目 |
|-------------|-----|---|
| 20名以下 | 34 | English Communication /English Listening /English Reading /English Writing /Grammar / Sound Production/ 英文講読 /基礎音楽/子どもの保健/事前事後指導/自然地理学 /社会的養護/障害児保育/情報文化特論/生活支援技術E/専攻演習 /相談援助演習 /相談援助実習指導 /地域文化研究(アジア文化論)/認知症の理解 /文献講読演習 、 a、 /幼稚園教育実習指導 /理科教育の研究/臨床心理学 (現福) |
| 21名以上50名以下 | 47 | English Communication /English Reading 、 /Grammar /Public Speaking /英語学特講/英語情報コミュニケーション /英米文学入門 /音楽表現法(前期)/家政学概論/韓国語 /器楽/基礎音楽/教育指導の研究、 /キリスト教文化史/ジェンダー論/社会科教育法/社会福祉施設サービス論/生涯スポーツ /障害ソーシャルワーク論/情報処理リテラシー/情報発信表現論/数量と図形の理解/生活科教育法/ターミナルケア論/地域研究特講(長崎と近代化)/データベース演習/東洋の思想/日英語対照研究/日本の宗教/日本文学概論/博物館資料論/発達と学習の心理学 /バリアフリー・デザイン/比較教育/比較文化研究(長崎の美術工芸)/福祉人権論/モンテッソーリ教育学特論 /理科教育法/老人ソーシャルワーク論 |
| 51名以上100名以下 | 30 | アンケート作成法/英語情報データベース/経済学/現代社会と福祉 /子どもと環境 /コミュニケーション研究 /産業・組織心理学/児童英語/児童臨床心理学/社会心理学/社会保障 /就労支援サービス/生涯学習概論/情報処理リテラシー/女性学入門/人文地理学/心理学 /心理学入門 /スポーツ文化論/造形表現法/総合演習/地域福祉の理論と方法 /図書館サービス論・児童サービス論/日本語学概論/日本語表現法 /人間心理学 /比較文化(方法)研究序説/福祉文化論/保健医療サービス |
| 101名以上 | 13 | 医学一般 /基礎造形/教育の基礎理論/心と身体の健康学/子どもと音楽 /児童相談の理論と方法/社会福祉論/障害児の心理と教育/生涯発達心理学 /心理学 /数学の基礎/人間関係論 /保育原理 |

質問項目別に見る平均

【表4-2】

| 設問内容 | | 20名以下 | 21名以上 50名以下 | 51名以上100 名以下 | 101名以上 |
|-----------------------|-----------|-------------|----------------|-----------------|-------------|
| 学生自己評価 | 平均 | 4.29 | 4.00 | 3.84 | 3.98 |
| 1. 適切な態度 | | 4.42 | 4.12 | 3.94 | 4.07 |
| 2. 意欲的な取り組み | | 4.15 | 3.88 | 3.74 | 3.88 |
| 授業への評価 | 平均 | 4.33 | 4.16 | 3.95 | 4.09 |
| 3. シラバスの授業への反映 | | 4.40 | 4.19 | 3.99 | 4.17 |
| 4. 成績評価基準の明示 | | 4.29 | 4.12 | 3.88 | 4.14 |
| 5. 授業時間を守る | | 4.39 | 4.32 | 4.07 | 4.31 |
| 6. 教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.41 | 4.28 | 3.97 | 4.06 |
| 7. 教材が理解に役立った | | 4.38 | 4.25 | 3.98 | 4.10 |
| 8. 板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.94 | 3.85 | 3.72 | 3.85 |
| 9. 進め方と内容の適切さ | | 4.27 | 4.13 | 3.88 | 4.00 |
| 10. 課題の内容は学習に役立った | | 4.33 | 4.20 | 3.93 | 4.02 |
| 11. 教員の熱意が感じられた | | 4.51 | 4.35 | 4.16 | 4.26 |
| 12. 適切な学習環境の保持 | | 4.32 | 4.04 | 3.89 | 4.08 |
| 13. 学生の努力の公正な評価 | | 4.29 | 4.11 | 3.93 | 4.05 |
| 14. 学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.40 | 4.23 | 4.00 | 4.21 |
| 15. 問題意識・関心が深まり | | 4.39 | 4.17 | 3.94 | 4.08 |
| 16. 後輩や友人に勧めたい | | 4.25 | 4.08 | 3.90 | 3.98 |
| 環境への評価 | 平均 | 4.34 | 4.25 | 4.26 | 4.27 |
| 17. 教室の広さの適切さ | | 4.41 | 4.24 | 4.28 | 4.28 |
| 18. 机・椅子の配置の適切さ | | 4.36 | 4.24 | 4.20 | 4.15 |
| 19. 教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.24 | 4.27 | 4.29 | 4.39 |

設問は略しています。正式な設問は「1 全体の結果」の【表1】を参考にしてください。



学生の自己評価と授業評価は、受講者数が多い授業ほど低くなっています。

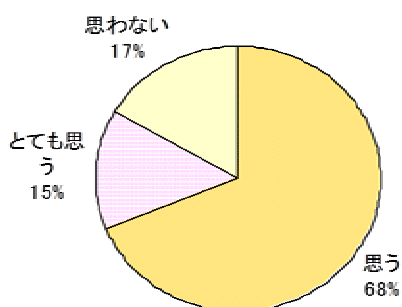
5 先生アンケートから

* 学生の皆さんにご協力いただいた授業アンケート結果を受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。

回答者数 専任教員 29名(回収率57%) 非常勤講師 19名(回収率54%)

アンケート結果

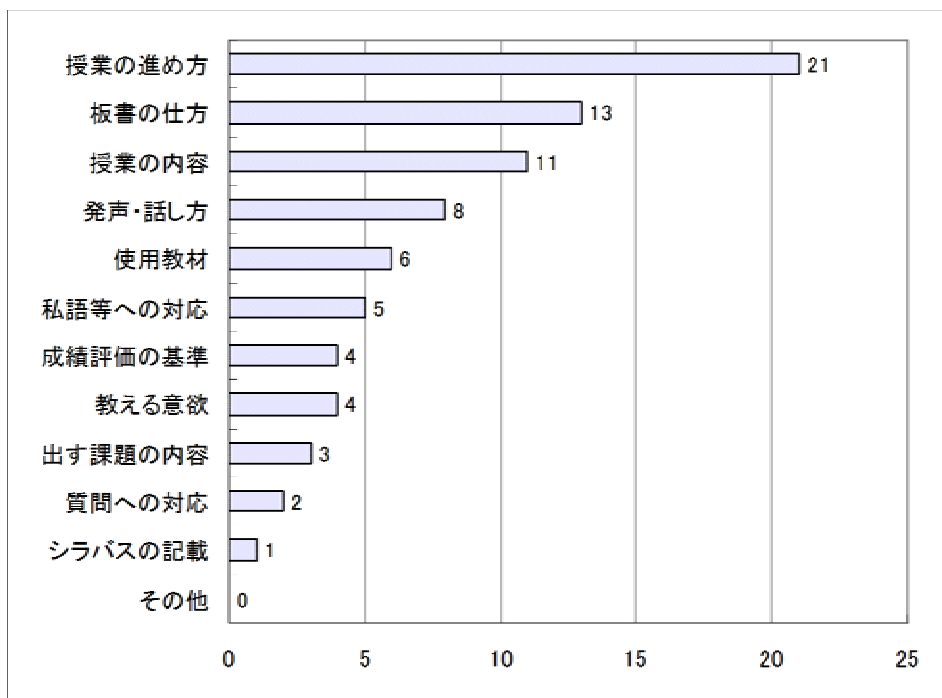
問1 授業アンケートが今後の授業改善につながると思うか？



| | 全体 | 常勤 | 非常勤 |
|-------|----|----|-----|
| とても思う | 7 | 4 | 3 |
| 思う | 33 | 19 | 14 |
| 思わない | 8 | 6 | 2 |

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点を改善しようと思うか？(複数回答可)



その他の改善点として「授業時間を守る」「全体」の意見がありました。

問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

問3 授業アンケートが改善につながると思う理由は？(複数回答可)

学生が真剣に取り組んでいない。

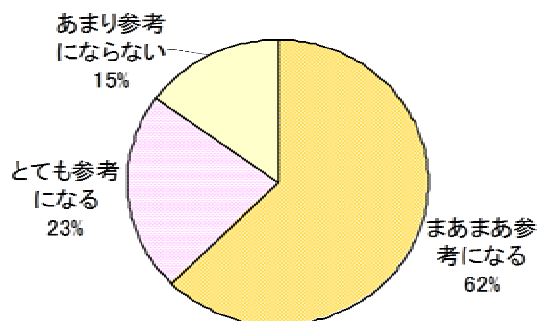
改善の手立てがわからない。

自分の努力ではどうにもならない。

質問項目がわかりにくい。

問4 自由記述アンケートは授業改善の参考になるか？

| | 回答数 |
|------------|-----|
| とても参考になる | 20 |
| まあまあ参考になる | 27 |
| あまり参考にならない | 4 |
| 全く参考にならない | 1 |



ほとんどの先生が『参考になる』と回答しています。特にどのような点が参考になるのかという…。「自分では気づかない授業運びについて知ることが出来る」「学生の生の声(意見)を知ることができる」などの意見がありました。

『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「自由記述欄に書いている学生が少ない」「教員の目に触れないとわかっていても書きづらいのではないか」などがあげられていました。